

◆ 2020 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：吉田ほたるの郷の会

23A-25

代表者：会長 高野 豊

URL :

1. 活動が必要とされた状況

秩父市の旧吉田町関地区では、ホタルの生育環境に恵まれていますので、養殖場を整備し、ホタルの幼虫の餌であるカワニナの繁殖に努めてきました。しかし、近年、養殖場や周辺の河原の木が大きくなり、水路に覆いかぶさって水温が低くなり、カワニナの生育に大いに支障をきたしている現状があり、活動の必要に迫られました。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

郷の会では、環境のバロメーターと言われる、ホタルの飛び交う快適な住みよい郷とするため、会員44名でホタルに関する調査、研究、養殖の推進、並びに生息環境づくりを長年にわたり進めてきました。ホタル養殖のモデルとなっている関地区では、カワニナの繁殖が旺盛で、ホタルの個体数も増え、近年2,000人程の方々がホタルの観賞に訪れるようになりました。しかし、前述のとおり、養殖場や周辺の河原の木が大きくなったので、11月末の寒い中、チェーンソーなどを使用して伐採し、伐木の搬出作業を実施しました。



3. 活動の成果

充電式チェーンソー（バーサイズ 25センチと35センチを購入）は、エンジン式に比べて、とても軽く、安全に伐採作業ができました。水路も明るくなり、水温も上がり、カワニナの生育を促すことができました。



4. 今後に残された課題

自然豊かな里山を守り、初夏の夜空を天の川のように飛ぶホタルの郷を目指し、次世代にゲンジボタルの光を繋げることが、今を生きる私たちの使命だと思っています。そのためには、今後も、カワニナ養殖場や周辺の河原などの定期的な整備や、水路周辺のイノシシ侵入痕跡などの監視が必要だと考えています。

